

進路指導部便り

令和8年6月19日
第3号
東京都立七生特別支援学校長
黒澤 一慶

本格的な梅雨入りを迎え、はじめとした湿気の高い日が続いたり、晴れた日は気温が高くなったりと、天気の変り変わりの多い日が続いています。気温の変動や湿度の高さには十分に注意し、梅雨や暑さに負けずに過ごしましょう。

今回の進路指導部便りでは、「高等部3年生の現場実習の報告」、「校内実習の様子」、「卒業生の事例紹介」を掲載しております。

進路を決める実習～高等部3年現場実習の報告～

高等部3年生の現場実習の目標は、『決める』です。3年生では、卒業後に希望している進路先での実習を行います。実習先（希望の進路先）を決めるために、これまで家庭や寮では様々な方法で生徒一人一人の「自己決定」を支えていただきました。体験後には振り返りを行い、それぞれが合う環境、仕事内容、やりたいことなどを一緒に考えてきました。また、課題については学校と家庭、寮が連携し、改善方法や支援方法を考え、実践してきました。各学年でのインターンシップ・現場実習を通じ、自己理解を深め、働くために必要な力を身に付けてきた歩みが、いよいよ卒業後の進路決定という場面で生かされます。

一方で、3年生での実習先を決める際は、事業所の空き状況や採用計画の有無など、多くの条件を含めて選択する必要があります。福祉事業所や企業からは、御本人の様子のほかに、「自分たちの仕事や活動に合う方か」、「今いるスタッフや利用者と合う方か」といった視点も加わります。様々な条件を考慮しながら、最善の実習先・進路先を選んでいきましょう。進路については、保護者会や面談でも詳しく御説明いたします。個別で御相談されたい場合は、「進路個別面談」などを積極的に御活用し、進路担当へお気軽にご相談ください。

校内で働く体験～高等部3年校内実習の様子～

高等部3年生は、5月25日（月）から6月5日（金）まで、校内実習を実施しました。

校内実習期間中は、地域の福祉事業所から受注作業の提供を受けたり、校内から仕事の依頼を受けたりし、職場のような環境を設定し学習に取り組みました。校内の清掃や提供いただいた受注作業などを通し、任せられた仕事に責任感をもって取り組むことや、自らの課題と向き合い改善に向け行動することの大切さを実践的に学ぶことができました。

地域の事業所様からは以下の作業を提供していただきました。御協力くださいました事業所様に感謝いたします。

- ①ふらっと・すすかけ：石鹸けすり ②日野市社会福祉協議会：車いす清掃、フードパントリー仕分け
- ③MKLab 珈琲焙煎所：ラベルシール貼り ④やまぼうし平山台：コーヒー豆選別

進路指導個別面談のお知らせ

7月も、進路指導主任及び進路専任による進路個別相談日を設けています。児童・生徒の進路に関する悩みごとや相談ごとについて、保護者、七生福祉園職員の方が相談できる機会です。どうぞ、お気軽にお申し込みください。時間は1回につき40分程度です。相談日は7月15日（水）です。

相談を希望される方は、下記のQRコードより申し込みください。締め切りは7月1日（水）です。

令和8年 進路個別相談のお知らせ
（7月）



URL : <https://forms.office.com/r/M3n8tpnhNN>

「体験を重ねて見つけた 自分に合った働き方」

(過去の事例より)

生徒 A さん 卒業後 就労継続支援 B 型の福祉作業所へ通所

【在学中】

- 1 年生 インターンシップ
 - 立ち作業が中心の事業所
 - 作業後の疲れが大きい
 - 「立ち仕事より座り作業の方が合う」ことが分かった
- 2 年生 インターンシップ
 - 座り作業が中心の事業所
 - 作業はできたが、利用者が多く疲れてしまった
 - 「人が多い環境が負担になる」ことが分かった
- 2 年生 現場実習
 - 少人数で落ち着いた環境
 - 環境は合っていたが、1 日体験すると疲れが残った
 - 利用時間を半日に変更して再度体験



★体験を重ね、2 年生に実習した事業所が「合っている」と本人が考えた

- 2 年生と同じ事業所 半日利用での実習
 - 疲れが少なくなり、安定して参加できた
 - 昼食を取らず午前のみ利用する内容で 2 週間体験
 - 無理なく通えることを確認できた

【卒業後】

- 午前の 3 時間利用からスタート
- 少しずつ環境に慣れ、現在は昼食後まで利用時間を延長
- 欠席することなく安定して通所を継続中

この事例から

A さんは、「どんな作業が得意か」だけでなく、「どのような環境や時間なら力を発揮できるか」を、体験を重ねながら知ることができました。その結果、自分に合った通所先や利用方法を見つけ、安定した生活につながっています。

進路について考えることは、高等部になってから始まるものではありません。小学部・中学部の段階から、多くの経験を積み重ねることで、得意なこと、支援の方法などが分かってきます。

「何ができるか」と同じように、「どんな環境なら力を発揮できるか」を知ること大切な視点です。進路選択に向けてさまざまな経験を積み重ね、本人にとってよりよい進路を考えていきましょう。